

実施日：平成28年5月後半～6月	
領 域：図画工作	
取組名：ね～むロード☆つながる' 36	
対 象：5年	実施場所：図工室・多目的室
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞活動を通して、互いの表現や工夫を認め合う態度を養う。 ・ひとりひとりの作品をつなぎ合わせて一つの大きな作品を完成させることで連帯の意識を深める。 	
<p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の名前文字を変形したり、色を使ったりしながら絵に表わしていき、デザインした名前の部分が「道」となり、最後は全員の「道」をつなぎ合わせるようにする。 	
ウ 連携先： 家庭	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作過程や完成した作品を掲示し、参観などでみてもらったり、学級通信で発信したりする。 	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動に入る前に、取組の内容を子どもたちに説明し、個人の作品完成の喜びと全体での作品完成の喜びの2つが味わえることを伝えた。デザインした「道」が誰とつながっているかも最後に自分たちで楽しんで探せるようにした。完成したときの気持ちを表現できるよう、ワークシートを取り入れた。 	
<p>カ 評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・児童の観察 ・児童の発言 	
<p>キ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の作品が完成した後も、みんなの作品と合わせることを楽しみにし、「最後はどんな道ができるだろう」とワクワクする様子がみられた。 ・みんなの作品をつなぎ合わせる過程で、リーダーシップを取る子が現れ、皆に指示を出すなど自分たちで協力して大きな作品を仕上げることができた。 ・完成した作品を見て、「ひとつになれた」、「みんなでつながっている」などの感想が聞けた。 	
<p>ク 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の取組の中で、仲間と協力して活動することは当たり前であるが、目に見える一体感を味わうことは意図的に作り出すことで、より多く体験できる。この単元以外にも、学習の中で自分も相手も意識しながら達成感を持てる機会をもてるよう、工夫していきたい。 	